

移住風景

2019年度【第11号】
2020年2月1日発行
八頭町役場商工観光室
(0858-72-0144)

—八頭町地域おこし協力隊活動の現場から—

今あるものを使う

十二月のとある夜、八東駅の駅舎内にて小さな音楽ライブを開催しました。バンド演奏者の音楽家の方を囲み、ささやかながら私が軽食を作りました。夜の駅に灯がともり、懐かしい洋楽を歌うお客さんたちの声が聞こえる様子は、駅舎全体が暖かく感じられ、幸せな空間でした。

私は、新しいものを綺麗に保って使うのが本当に苦手です。新品のものは、使っていくうちに新品の時よりも、必ず汚れたり傷ついたりしていきます。拭いても洗っても戻らず、綺麗に使えない自分を責められて

いるような気分になることがあります。ただ、お借りしている家や道の駅はとうとう、八東駅など、一見すると古く見えるものでも、掃除をしたり、使ったり、ちよっと直したりして、そのもののいい所を発見して見せるようにしていくと、生き生きと綺麗になっていくような気がします。それはとても安心で、使うほど生き返るなんて素敵だなと思って日々を過ごしています。

松下 聡子

協力隊担当の現場から

八頭町発見伝⑭

—成田山青龍寺の

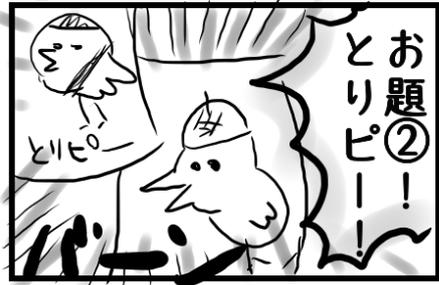
「節分会」—

二月三日と言えば節分。節分と言えば豆まきですが、八頭町下門尾にある成田山青龍寺では、節分の日に合わせて「節分会」と呼ばれる法要が行われます。

この節分会は毎年開催されており、世界平和、万民豊楽、家内安全、商売繁盛等が祈願されます。当日は、祈念法要と併せて豆まきや福うどんのおもてなしがなされるほか、積雪があれば参道に雪うさぎが設置される年もあります。

普段は自宅等で行う節分行事ですが、今年は青龍寺に参拝して豆まきをされてみてはいかがでしょうか。

(商工観光室 田中)



○協力隊からのお知らせ

・移住風景は、八頭町役場ホームページからカラーでご覧いただけます。